

SIRE

サイア

4

CONTENTS

JP3H53364 ハビイースト アール
エス テンブター ETの故郷を訪ねて

～中標津町・福村 稼牧場～

サンディーバレー牧場を訪ねて

～ブルーブラッド、ビッグガイ、バレットを輩出した
“ブライアン”ファミリーに迫る～

次世代のレーガンクレスト牧場を創る
“バービー”ファミリー

注目の国産白清(くにびきしらきよ)

和牛改良の礎となった質量兼備の
種雄牛「平茂勝」号

平成21年度 牛に係る家畜体内受精卵
移植に関する講習会開催要領

平成21年4月15日号

2009 April

Vol.375



YOGAWA
株式会社ヨガワ

写真は、JP3H52276 サンディーバレー ビッグガイ ETの娘
ロツクヘルス BG クリス
江別市/岩田 淳一氏 所有 母の父/ケー イー ティー ジュラー ET

本来、機関誌「サイア」375号は、平成21年3月15日号でしたが、3月末の北米資源調査時に訪問した著名牧場の紹介記事を掲載することとしたため平成21年4月15日号となり、読者の皆様にご迷惑をお掛け致しました。心よりお詫び申し上げます。



“エス テンプター”の生産牧場である、中標津町の福村 稔牧場(搾乳頭数45頭、育成頭数45頭)は、昭和20年頃入植した祖父の代から乳牛を飼っておりました。

「中標津町」は、北海道東部に位置し、根室支庁管内の中央部にあって、北西の山岳部から南東に平野が展開する、摩周系火山灰の土壌が大部分です。

気候は、夏期が低温多湿、秋から冬にかけて好天が続くことから、酪農を基盤とする農業(馬鈴薯・甜菜・大根などの畑作に、クリーン農業を目指し堆肥の有効利用に力をいれている)が確立され、これを基幹として、商工業の発展がなされ、人口約24,000人に対し、乳牛飼養頭数約39,000頭、生産される牛乳の一部は飲用向けになり、多くはナチュラルチーズの原料に向けられています。

★ハビイースト マナー ジェム ETの誕生

「インデックスでも共進会でも使える乳牛を導入したい」と考え、平成9年度MOET事業で、平成初期に活躍した乳量遺伝のスペシャリスト「7H46397 レディースマナー ウィンチエスター ET (♂エアロスター)」など著名な種雄牛を輩出した「ジェム」ファミリーの「レディースマナー テンプレスト エー エム ET (♂メルワード)」×「♂ドルフ」の受精卵を2個導入し2頭とも受胎しました。それまで多くの輸入受精卵を導入しましたが、その多くが不受胎か分娩しても雄でした。当時、輸入受精卵で唯一の雌牛が“エス テンプター”の祖母である「ハビイースト マナー ジェム ET (VG-88)」【NTP 57位】でした。「生まれた時からタイプが良く、ピビ

ット来るものがあった。」そうで、1999北海道ブラックアンドホワイトショー 第1部で1等賞8席に入賞し、繁殖性にも優れ、バージン フラッシュの成果もあり、1頭の雌牛から119頭の子孫が全国各地に散在するという近年まれに見る優秀ドナー牛となりました。

「このファミリーの良さは、KDC レイチエル ET (マナー ジェムとフルシスター)を見て確信した。



血統の裏付けとして考えようと思った。」と言う福村さんは、優良遺伝資源を自家保留して満足するのではなく、近隣の仲間、あるいは多くの牧場で活用してほしいと考えておりました。

現在、当牧場牛群の約4割がこのファミリーで占められています。なお、後述のファミリー図に示す通り、国内はもとより北米においてもエリートカウを多数輩出しております。

国内では、今回のNTP100位内(2009-2月)に「マナー ジェム」のNTP 2,277 全国第57位を筆頭に、娘牛「ハビイースト テンプレスト バム ET VG-89

JP3H53364 (テンプター) のファミリー



ハビイースト テンプロレックス ET



ハビイースト テンプロレス ヴィーガ ET



レディスマナー エーエム ターシャ ET



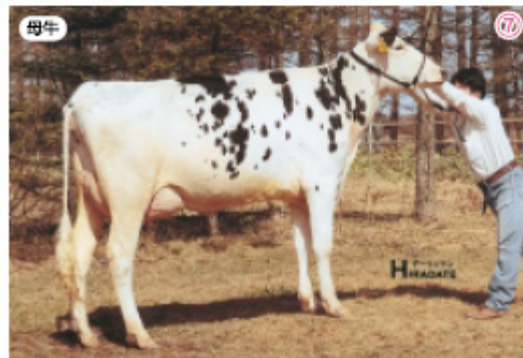
レディスマナー デミ グラツゼ ET



レディスマナー ルビー D ショーン ET



ハビイースト アール エス テンプター ET



ハビイースト テンプロレス ラム ET

- ♀ レディスマナー トップガン ジエミニ ET (♂ クレイタス)
- ♀ レディスマナー テンプロレス ジエム ET (♂ ブラックスター)
- ♀ **レディスマナー テンプロレス エーエム ET (♂ メルワード)**
- ♀ ハビイースト マナー ジエム ET (♂ ルドルフ) [NTP 57位]
- ♀ ハビイースト テンプロレス パム ET (♂ コンビンサー) [NTP 64位]
- ♀ ハビイースト テンプロレス FP 02 ET (♂ ファインリー) [NTP 80位]
- ① ♀ ハビイースト テンプロレックス ET (♂ ロレックス)
- ⑦ ♀ ハビイースト テンプロレス ラム ET (♂ アーロン)
- ⑥ ♂ **ハビイースト アール エス テンプター ET (♂ モーティー) [JP3H53364]**
- ♀ ハビイースト テンプロレス ホワイトイ ET (♂ ジェット ストリーム)
- ② ♀ ハビイースト テンプロレス ティム ET (♂ モーティー)
- ♀ ハビイースト テンプロレス ヴィーガ ET (♂ FBI)
- ③ ♀ レディスマナー ダーハム エーエム ET (♂ ダーハム)
- ♀ **レディスマナー エーエム ターシャ ET (♂ H タイタニック)**
- ♀ レディスマナー デイミトリアス ET (♂ ダーハム)
- ♀ レディスマナー BW デイミトリアス (♂ BW マーシャル)
- ④ ♀ レディスマナー デミドードル (♂ モーティー)
- ♀ **レディスマナー デミ グラツゼ ET (♂ ゴールドウイン) (CTPI 44位)**
- ♀ レディスマナー テンブ ジエアナ ET (♂ ジェフリー)
- ♀ レディスマナー ルビー ジェン (♂ ルドルフ)
- ⑤ ♀ レディスマナー ルビー デイ ET (♂ デビュー)
- ♀ **レディスマナー ルビー D ショーン ET (♂ ショツテル) (CTPI 17位)**
- ♂ **レディスマナー ウインチエスター ET (♂ エアロスター) [7H4637]**
- ♀ レディスマナー トップスター ET (♂ エアロスター)
- ♀ ティーユー レディスマナー ジエミニ ET (♂ ジエ)
- ♀ ティーユー レディスマナー グレース (♂ アジソン)
- ♀ ティーユー レディスマナー ジェネシス ET (♂ モーティー)

(♂コンビンサー)」が NTP 2,248 全国第64位、その娘牛「ハビイースト テンプロレス FP 02 ET (♂ファインリー)」が NTP 2,147 全国第80位の3頭がランキングされております。

“エス テンプター”の母牛である「ハビイースト テンプロレス ラム ET VG-85 (♂アーロン)」は、NTP 2,206 全国第70位相当になりますが本牛死亡により順位は付きませんでした。

また、北米において同ファミリーから輩出された「レディスマナー ルビー D ショーン ET VG-87 (♂ショツテル)」が、CTPI 2,260 (2009-1月)で17位にランクインされ、「レディスマナー デミ グラツゼ ET (♂ゴールドウイン)」が CTPI 44位にランクされるなど、世界的にも主流なファミリーと言えます。

★“エス テンブター”評価成績公表時の感想

「成績を見て、ビックリした!!」と一言。笑いながら言う福村さんでしたが、実は本牛契約時、市場行きを間違えたのが今の“エス テンブター”なのです。「だから尚更記憶に残っているし、幸運過ぎてビックリしました。でもこういう種雄牛が大成するもんです。」という感想を頂きました。また、誰よりも乳房形状の良いファミリーと認識されている為、乳器の改良貢献度の高さに太鼓判を捺しております。

“エス テンブター”は2008年11月に、総合指数+1,868(全国第11位)、決定得点+2.13(全国第3位)、乳器+1.96(全国第4位)の成績でデ

ビューしました。

今回2回目の成績(2009-2月)で、総合指数+1,958(全国第8位)、決定得点+1.94(全国第7位)、乳器+1.84(全国第6位)と、体型・乳器の改良に極めて優れた高能力種雄牛として評価を不動のものとしております。

また、本牛の妹「ハビイイースト テンプレスト ホワイト ET(フジエツト ストリーム)」は、母の唯一自家保留で生産された雌牛で、現在、各AI事業体から種雄牛造成の契約依頼が数多くあるなど、国内で注目を集めているエリートカウのひとつとなっております。



(左より)
WV ジエマイマ テンブター
中橋津則/竹村 聡氏 所有

アンネット グリット ドアール(逆版)
大橋剛/原口 武夫氏 所有
母の父/テスクホーム ツルー グリット ET

テルスタートニー アールストー(逆版)
大橋剛/金首 幹男氏 所有
母の父/クワイエットコープ マース トニー ET

★最後に

世界の血液の流れを常にチェックし、勉強を絶やさない福村さんですが、今後特に肢蹄の改良に力を注ぎ、「マナー ジェム」以外の系統でシヨウカウを作り、全道トップクラスを競うことが当面の目標であるという事です。

また、「エス テンブターに関しまして、多くの方々のご指導、ご協力の下、上位ランキングが叶いました。」という感謝のお言葉を頂きましたので、申し添えます。

道北事業所 氏平 健太郎



海外現地レポート

サンディバレー牧場を 訪ねて～ブルーブラッド、 ビックガイ、バレットを輩出した “ブライアン” ファミリーに迫る～

ライスクレスト ビーウッド ブライアン ET

1. はじめに

サンディバレー牧場から生産された種雄牛の活躍振りは、わが国でも顕著です。

なかでも“ブライアン”ファミリーからは数多くの優秀な種雄牛が生産され、ジェネティクス北海道には、好体型の娘牛を生産しているJP3H53008「ブルーブラッド」をはじめ、セカンドクローブで娘牛頭数が増え、さらに活躍中のJP3H52276「ビックガイ」、JP3H51853「バレット」がいます。また、アメリカではボルトン（♂ハーシエル、ブルーブラッドの兄弟）が、各国のインターブルで活躍していることで知られています。さらに、“ブライアン”ファミリーは雌牛の遺伝評価で注目され、中でも北海道豊富町 石川 志宏牧場で繁養されている「ストーンリバー ジャスト ブランディ ET (VG-85)」は、NTP+2,753で全国第9位（2009-2月）にランキングされブルダムとしても活躍しています。

彼女の娘牛達（♂トイストーリー、♂バクスター等）も初産で乳器を付け始め体型・乳器の良さに加え、能力も高く注目を集めています。



ストーンリバー ジャスト ブランディ ET

この度、サンディバレー牧場を訪れ“ブライアン”ファミリーの特徴について聞くことができたのでレポートします。



2. 牧場概要

アメリカ ウィスコンシン州の北部に位置するサンディバレー牧場がホルスタインのブリーダーとして始まったのは1987年の事です。

現在は4人兄弟（グレッグ、デイビッド、パトリック、フランク）の共同経営でフランクの娘であるダナエさんも手伝い、その他に搾乳作業員を3名雇っています。

飼養頭数は約850頭（うち経産牛は約400頭）で1頭あたりの能力はM12,882kg 乳脂率3.7% 乳蛋白質率3.2%と高能力牛群です。

今でも年間約50～60頭のヤングサイアーを人工授精所に販売しています。

なお、現在は十分なレシビアントが確保できることから受精卵は販売していないとの事です。

以下はグレッグ氏との対話です。

Q1. サウスウインド ケイの娘である“ブライアン”を導入した経緯を教えてください。

グレッグ氏：毎年6月下旬に開催させるナショナルコンベンションセールで購入しました。当時“ブライアン”は3ヶ月齢の子牛でした。

Q2. 優秀な子孫が数多く繁殖している“ブライアン”ファミリーの特徴を教えてください。

グレッグ氏：ブライアンの子孫たちは、特に乳量と乳蛋白質量が安定して高いです。乳脂量は平均的だと思います。体型面ではフレームが良く、乳用強健性に優れています。また、肢蹄が良いのもこのファミリーの特徴です。交配にはベルウッド(“ブライアン”の父)の欠点でもあった乳房低面を意識して常に乳器の良い種雄牛を使ってきました。

Q3. “ブライアン”の子孫の中で一番気に入っている牛はいますか？

グレッグ氏：ブレッツィング(♂コンビンサー)です。特に体型が良く、ストーマチックの娘牛たちがブルダムとして活躍しています。もちろん、ブルーブラッドやボルトンも輩出してくれましたしね。



サンディバレー ブレッツィング ET

Q4. ジェネティクス北海道にいるブルーブラッドやバレット、ピックガイについての何か思い出はありますか？

グレッグ氏：ブルーブラッドは今でも鮮明に覚えていますし、今後も忘れることはないでしょう。今まで種雄牛を作った中で一番体型の良い雄子牛でした。フレームが雄大だけでなく、スタイリッシュで資質に富んだ素晴らしい雄子牛でした。

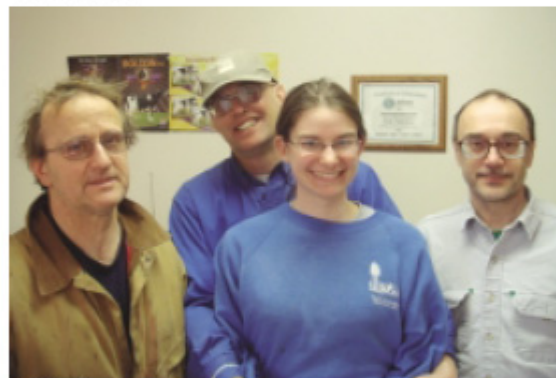
Q5. サンディバレー牧場には米国の優秀なカウファミリーが導入されていますが、気に入っているファミリーや今後注目しているファミリーはありますか？

グレッグ氏：ここ数年ではジュラーフェイス、バービー、デスー オーマンの子孫を導入しました。今後取り入れたいファミリーとして「*マンフレッドヤダ」ファミリーの流れに注目しています。能力と機能的体型に優れ、長命性や管理形質に優れた遺伝子を備えているからです。

*MILKWORTH MANFRED YADDA (USA127281274)

Q6. 最後にサンディバレー牧場の改良目標を聞かせてください。

グレッグ氏：乳牛改良はバランスが必要だと思っています。能力が安定していて機能的な体型を維持し、搾乳がしやすく体細胞数の低い牛を作っていきます。



(左から) デイビット氏、フランク氏、ダナエさん(フランク氏の娘) グレッグ氏

3. おわりに

“ブライアン”の特徴を受け継いだ種雄牛はジェネティクス北海道がお届けすることができます。

『ピック ガイ』は、2009-Iの種雄牛評価成績でセカンド クロップで全国10位にランキングされています。安定した能力、好体型で好乳器、特に後乳房の高さ、幅、懸垂、深さに優れ、管理形質では、在群期間長く、気質良好で、体細胞スコアが低い(全国第5位 2.19)、アーロンの息牛です。

『バレット』は、トータルバランスの取れたセカンドクロップ種雄牛です。娘牛は、乳用強健性に富んだ、鋭角的なフレームをしており、乳器の改良に優れ、

『ブルーブラッド』は、グレッグ氏からのコメントのとおり体型面のスペシャリストになる要素が沢山含まれているエリートブルです。

国内種雄牛でトップレベルの決定得点、乳用強健性、乳器、肢蹄の成績を有し、管理形質でも、在群期間、泌乳持続性、分娩難易良好で体細胞スコアが低いことが特徴です。

以上、3種雄牛の共通点は、決定得点高く、乳用強健性に富み、好乳器であり、管理形質では、

在群期間長く、体細胞スコアが低いことです。

さらにこれらの種雄牛はGH-X【性選別精液(メス)】でもお届けできる人気種雄牛です。

今回は日曜日にも関わらず快く時間を作って頂いたグレッグ・パウワー氏をはじめ、サンディバレー牧場関係者に深く御礼申し上げます。

今後のサンディバレー牧場のますますの繁栄をお祈りし現地レポートとします。

改良部 乳牛改良課 藤田 功

JP3H52276 ビッグガ이의娘



ロソクヘルス BG クリス
江別市/岩田 淳一氏 所有
母の父/ケー イー デイー ジュラー ET



クリーン ビッグ アスター
稚本町/中根 達哉氏 所有
母の父/ミスター ページ RC マーシュ トウロ ET



ヘンドリカ サーフア ビグ サム
鶴田村/清和農場 所有
母の父/ピアースタイン サファリ

JP3H51853 バレットの娘



ホクレン ジャツキー バレット シーン
馴子町/ホクレン畜産技術研究所 所有
母の父/ライスクレスト マーシャル ET



クリーン クリルピナ ルナ サンデー
伊達市/佐藤 実氏 所有
母の父/レキシレーン ビーダブルユウ レイザー ET



ホクレン エルム バレット ジョシー
馴子町/ホクレン畜産技術研究所 所有
母の父/レデイスマナー ウインチエスター ET

JP3H53008 ブルーブラッドの娘



(左より)
ワイケールランド ブルーブラッド
天塩町/今野 泰宏氏 所有
母の父/マーガー GB コンサルタント ET
スバンキー ブルーブラッド ボーバ
本別町/金山 孝氏 所有
母の父/マラトーン マスコット アデイダス ET
ミス ブルーブラッド ジブ
八雲町/小栗 義氏 所有
母の父/ラツツチ レクサス ET

系統圖

- ①♀ ライスクレスト ビークード ブライアン ET VG-88 (♂ベルワード) CTPI+1,505 サンディバレー牧場所
 ♀ サンディバレー マティ ベチー ET VG-86 (♂マティーG) CTPI+1,378 サンディバレー牧場所
 ②♂ JP3H52276 サンディバレー ビッグ ガイ ET (♂アーロン) NTP全国第10位 ジェネティクス北海道
 ③♂ JP3H51853 サンディバレー バレト ET (♂アメル) NTP全国第51位 ジェネティクス北海道
 ④♀ サンディバレー プレツシング ET VG-88 (♂コンビンサー) CTPI+1,683 サンディバレー牧場所
 ♀ サンディバレー ボルトン ET (♂ハーシェル) [29H011111]ABS グローバル社
 ⑤♂ JP3H53008 サンディバレー ブルブラッド ET (♂BWマーシャル) NTP全国第48位 ジェネティクス北海道
 ♀ K サンディバレー BWM プレツシング ET VG-86 (♂BWマーシャル) NTP+1,806 岩手県 藤森 麗美氏所有
 ⑥♀ サンディバレー STRM ベスニー ET EX-90 (♂ストーマティツク) CTPI+1,714 サンディバレー牧場所
 ⑦♀ サンディバレー ストーム パナエ ET VG-87 (♂ストーマティツク) CTPI+1,735 サンディバレー牧場所
 ⑧♀ サンディバレー ハーシュ バンジョー ET VG-86 (♂ハーシェル) CTPI+1,639 サンディバレー牧場所
 ⑨♀ リラファーム MD バンジョー ET VG-83 (♂デユース) NTP+1,916 横浜町 熊谷牧人氏所有
 ⑩♀ サンディバレー ハー ブランディ ET VG-87 (♂ハーシェル) CTPI+1,525 サンディバレー牧場所
 ⑪♀ ストーンリバー ジャスト ブランディ ET VG-85 (♂オーマン) NTP+2,753 豊盛町 石川志家氏所有



① ライスクレスト ビークード ブライアン ET



⑤ サンディバレー ブルブラッド ET



⑨ リラファーム MD バンジョー ET



② サンディバレー ビッグ ガイ ET



⑥ サンディバレー STRM ベスニー ET



⑩ サンディバレー ハー ブランディ ET



③ サンディバレー バレト ET



⑦ サンディバレー ストーム パナエ ET



⑪ ストーンリバー ジャスト ブランディ ET



④ サンディバレー プレツシング ET



⑧ サンディバレー ハーシュ バンジョー ET



レーガンクレスト PR バービー ET

次世代のレーガンクレスト牧場を創る“バービー”ファミリー

“バービー”について

アメリカ アイオワ州 レーガンクレスト牧場と言えば、皆さんが連想するのは、“デアリア”ファミリーの故郷に思い当たるでしょう。しかし、今日では“デアリア”に変わる新たなファミリーが注目の的と成っております。それが“レーガンクレスト PR バービー ET (EX-92)”【2-06 365d M14,374kg F561kg 3.9% P476kg 3.3%】で、世界中の人工授精所が順番待ちで受精卵導入を図っている、人気絶頂のカウファミリーです。

“バービー”は、2001年7月24日レーガンクレスト牧場で生まれ、父は「♂レーガンクレスト エルトンダーハム ET」で、母は「レーガンクレスト ジュラープリナ ET (EX-92)」【4-04 365d M18,434kg F670kg 3.6% P552kg 3.0%】で4世代EXと体型・能力のバランスに優れたファミリーを形成しております。サイアーラインナップも「♂ジュラー」×「♂エアロスター」×「♂チーフ マーク」×「♂チエアマン」と各時代の著名種雄牛が名を連ねており、母牛のフル兄弟「♂レーガンクレスト ジュラー ボンド ET」はCRI種雄牛として、日本でも精液が輸入され、体型の良さで好評でした。

「プリナ」は、「♂テスク テリー」・「♂ストーマテイツク」などの種雄牛で採卵されましたが、最も成功したのは「♂ダーハム」で“バービー”を含め4頭がEXを獲得しております。

本牛は、体高・体長に優れ、乳用強健性に富み、乳房の底面高く、乳頭配置良好で、乳器の付着形状に優れ当牧場の「ベストアダー カウ」と謳われております。また、特に、尻長が長く、坐骨幅が広く、腰角・坐骨の位置・角度が正確であることに魅了させられました。



彼女は、「エリート カウ」として安定した能力と際立った体型に注目され、北米の人工授精所に約15頭の候補種雄牛が繋養されています。アメリカ体型指数(PTAT)で第1位にランキングされ、2004年ワールドデイリーエキスポで3歳ジュニアクラス5位となり、同年準々オールアメリカンを獲得しました。長い採卵期間の後、2008年4月に2産目を分娩、夏の体格審査で7歳EX-92点(乳器95点、尻100点)を獲得し再び採卵準備をしていましたが、10月中旬に突然死亡しました。

“バービー”の子孫

本牛には多くの子孫が残っており、既に25頭の娘牛が2歳時にVGを獲得し各地で「エリートカウ」として活躍しております。

初産時の娘牛「レーガンクレスト シンデレラ【♂チャンピオン】」(レーガンクレスト牧場所有)は、2009年2月に2産目を分娩し、1ヶ月後の体格審査でEX-92点を獲得しました。彼女は、特に乳用強健性と資質は“バービー”を越える良さを持つ「エリート カウ」で、2006年ワールドデリーエキスポで2歳シニアクラス7位となり「ショウ カウ」として活躍しました。

彼女の「♂シヨツテル」の娘牛「レーガンクレスト S チヤシテイ ET」(アーネスト・クフナー&デイビッドダイメン所有)はアメリカ雌牛評価で第5位、カナダに渡った「レーガンクレスト S セレプリテイ ET」(ブリーズヒル&ブロンデイン牧場所有)はカナダ雌牛評価第81位となり、ともに「エリート カウ」として活躍しております。

2006年レーガンクレスト・コマンド・パフォーマンス・セールⅣで“バービー”の「♂シヨツテル」による娘

- レガंकレスト ボート 狂マンビ - EX-90 (♂狂マン)
- レガंकレスト マウ 狂マンビ - EX-91 (♂チフマウ)
- レガंकレスト アイスタービ - ET EX-91 (♂アイスター)
- BV ダーツ 牝 牝 アルク VG-86 (♂牝アルク)
- ダーツバオン イルト プリテイ ET VG-88 (♂イルト)
- ダーツバオン オマン プリス VG-85 (♂オマン)
- レガंकレスト アイスターバート ET EX-90 (♂アイスター)
- レガंकレスト ジョーバート (♂ジョー) CRI種雄牛

- ① レガंकレスト ジョー プリ ET EX-92 (♂ジョー)
- ② レガंकレスト PR バート ET EX-92 (♂ダール)
- ③ レガंकレスト シンデラ EX-92 (♂シンデロン)
- ④ レガंकレスト S ショティ ET VG-88 (♂ショティ) CTPI 第5位
- ⑤ レガंकレスト S セブリテイ ET VG-87 (♂ショティ) LPI 第81位



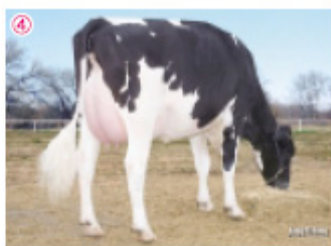
レガंकレスト ジョー プリ ET



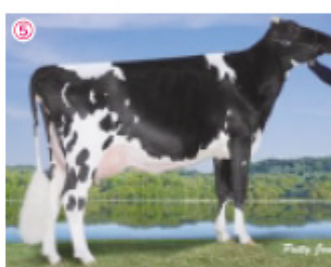
レガंकレスト PR バート ET



レガंकレスト シンデラ



レガंकレスト S ショティ ET



レガंकレスト S セブリテイ ET



レガंकレスト アレ ET

- レガंकレスト プリナ ET VG-87 (♂ショティ)
- ⑥ レガंकレスト アレ ET VG-88 (♂ショティ) CTPI 第75位
- レガंकレスト バート ET VG-85 (♂ショティ) CTPI 第85位
- レガंकレスト ベララ ET EX-90 (♂ショティ)
- ⑦ レガंकレスト バート ET VG-88 (♂ショティ) CTPI 第31位
- ⑧ レガंकレスト ブラリア ET VG-88 (♂ショティ) CTPI 第50位
- レガंकレスト バート ET VG-87 (♂ショティ)
- ⑨ レガंकレスト G ビーズ ET VG-87 (♂ゴートウ)
- ⑩ レガंकレスト G ビーズ ET VG-87 (♂ゴートウ)
- レガंकレスト G ビューティ ET VG-85 (♂ゴートウ)
- レガंकレスト G アウト ET VG-87 (♂ゴートウ) CTPI 第106位
- ⑪ レガंकレスト G アレ ET VG-87 (♂ゴートウ)
- レガंकレスト TS ベニツ ET VG-86 (♂トストリー)
- レガंकレスト TS ベニツ ET VG-85 (♂トストリー)
- ⑫ レガंकレスト RH ダール プリ ET (♂ダール)
- レガंकレスト フォビド ビューティ ET EX-91 (♂フォビド)
- レガंकレスト アトサイト プリ ET EX-91 (♂アトサイト)
- レガंकレスト モティ ミステイク ET EX-92 (♂モティ)
- レガंकレスト RH ダール ビアカ ET EX-92 (♂ダール)
- レガंकレスト RB プリ ET EX-90 (♂ダール)
- レガंकレスト RB バート ET EX-91 (♂ダール)
- レガंकレスト RH テリア プリ EX-90 (♂テリ)



レガंकレスト G ビーズ ET



レガंकレスト G ビーズ ET



レガंकレスト G アレ ET



レガंकレスト RH ダール プリ ET



レガंकレスト バート ET



レガंकレスト ブラリア ET

牛達9頭が異なる牧場へ購買され、活躍していることで話題となっております。

既に、2歳時でVGが7頭（VG-88点3頭、VG-87点2頭、VG-85点2頭）となり、内1頭は、今年3月EX-90点を獲得しております。特に世界中の人工授精所が注目している娘牛が、2歳時VG-88点の「レーガンクレスト バーバラ ET」【2-02 305 d M12,565kg F466kg 3.7% P402kg 3.2%】（レーガンクレスト牧場所有）と「レーガンクレスト プレヤ ET」【2-02 365d M14,497kg F528kg 3.6% P411kg 2.8%】（グローブズビュー&レーガンクレスト牧場所有）です。

「バーバラ」は、母“バービー”に大変良く似て体高・体長があり、絹のような皮膚・被毛を持つ黒いデリーな牛で、乳房の幅と強い前後付着など際立った魅力を持っており、昨年のアイオワ州地区ショウで2歳シニアクラス1位およびリザーブインターメディアイトチャンピオンになるなど能力・体型両面備えております。

「プレヤ」は、「♂シヨツテル」の特徴が良く現れた中型サイズの幅・中駆が充実し乳用強健性に優れた乳器付着の強い娘牛です。2008 レーガンクレスト・コマンド・パフォーマンス・セールVにおいて2番目に高値が付けられました。

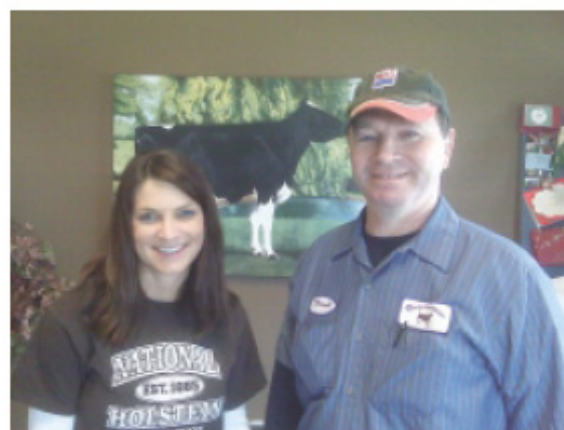
この他に「♂ゴールドウイン」による娘牛が6頭おり、2歳時でVGが5頭（VG-87点4頭、VG-85点1頭）と遺伝力の強さを発揮しております。今後、6頭の「♂トイストーリー」による娘牛達が生誕してくることと、4頭の「♂マック」による未経産牛達に期待が高まっております。

アメリカ体型指数(PTAT)の上位独占

2009年1月公表の雌牛評価成績を見ると、総合指数(CTPI)上位100傑内に“バービー”の娘牛や孫牛が5頭ランキングされております。また、体型指数(PTAT)では上位100傑内に13頭がランキングされており、トップ5位まで全て“バービー”の娘牛で、+4.50を超える数値です。

レーガンクレスト牧場の今後について

レーガンクレスト牧場主 フランク・レーガン氏と娘シエリー・レーガン氏にこのファミリーと今後の注目



の牛について質問をしてみました。

フランク氏は、「“バービー”ファミリーはトータルバランスに優れており、特に、乳器において“バービー”の遺伝力が強く、娘牛達はすば抜けた良さを持っています。一番注目の牛は「バーバラ(♂シヨツテル)です」と話しておりました。

一方、娘シエリー氏に聞くと、「このファミリーはどの娘牛も尻幅に優れており、未経産・初産時は極端な斜尻であるが産を重ねるごとに良くなっていき、肢蹄・尻の構造が良く長命性に優れていることが特徴です。一番注目の牛は「シンデレラ(♂チャンピオン)です」と言っておりました。

両氏の今後の注目の牛はともに「レーガンクレスト TS ベニツサ ET(♂トイストーリー)」でした。彼女は今年2月に分娩し、母“バービー”に良く似た黒い皮膚・被毛で体長があり、乳用強健性に富み、乳器の付着形状に優れた娘牛です。分娩1ヶ月後の体格審査でVG-86(乳器VG-87)を獲得しており、世界中の人工授精所が注目する牛の1頭です。

両氏は、“バービー”の娘牛には均一に良さが伝達されていますが、今後、種雄牛達の好成績を期待しているところです。

「スノーエヌ デニセス デリア」は、多くの著名種雄牛を世界に輩出した偉大な牛でした。“バービー”は、それを超えるレーガンクレスト牧場の新たな看板ファミリーになるのか、今後の活躍が期待されている最注目のファミリーです。

改良部 乳牛改良課 伊藤克美

注目の国牽白清(くにびきしらきよ)

昨年から世界的な不況に突入し、肉用牛の子牛価格や枝肉価格の低迷が続いており、肥育農家、繁殖農家共に厳しい時期であると思います。そんな中、北海道の子牛市場では、種雄牛、増体、血統構成(3代祖まで)の要因が揃わないとなかなか高値で取引されません。また、肥育、繁殖サイドからは増体、発育の良い優良種雄牛を求める声が多くあります。

平成19年度に現場後代検定を終了した国牽白清(H黒-132)は本団で最も注目を集める兵庫系種雄牛であり、北海道の子牛市場でも上場頭数が増えてきており、今後の活躍が期待されています。

「国牽白清」は鳥根県松江市の(有)和野山農場で生まれました。名前の由来は出雲神話の中の1つの「国引き神話」からとられ、国を引っ張る白清で「国牽白清(くにびきしらきよ)」と命名されたそうです。父は岐阜県の「飛騨白清」、母の父は宮城県「茂勝」、母の祖父は(社)家畜改良事業団の「紋次郎」という全国的にも珍しい血統構成になっています。また、4代祖からは鳥根県の代表的な種雄牛である「糸光◆」「第7糸桜」「晴美」という血統構成になっています。本牛は当団黒毛和種種雄牛の中でもっとも大きく、体高は157cm、体重は約1tで、全国的に見てもこれだけのサイズのある兵庫系種雄牛は貴重ではないかと思えます。十勝清水種雄牛センターに繋養されており、多くの畜産関係者、肥育繁殖農家さんがセンターへ視察に来られますが、「国牽白清」の大きさにいつも驚いています。

「国牽白清」は間接検定と現場後代検定を同時に行なった最後の種雄牛であり、北海道では検



国牽白清 × 千代桜 × 平茂勝

定終了前よりF1用精液として多く利用されておりました。

間接検定及び現場後代検定共に良好な成績で終了し、さらに人気が高まりました。特に現場後代検定ではホクレン十勝枝肉市場でBMS10が3頭同時に出荷されたことが印象深く、質量兼備の兵庫県種雄牛であることを証明いたしました。現場後代検定において「平茂勝」「北国7の8」「藤桜」の娘牛に交配された材料牛が脂肪交雑、枝肉重量ともに良好でした。

また、子牛市場でも一般枝肉成績判明前の種雄牛としては高値で取引されています。産子の特徴は兵庫系種雄牛としては大型であり、発育も良好で管理が楽であると繁殖農家の方々から聞いております。

交配については、「平茂勝」の繁殖牛に多く交配されており価格も高値で取引され、「勝忠平」「百合茂」などの繁殖雌牛への交配を推奨いたしますが、産子の発育が良好なので血統を選ばない多様なバリエーションで交配ができると思われます。

気になる点としては、本牛と同じく後肢が長いことであり、大型でありながら若干細身の印象を受けることがあります。「国牽白清」の特徴を色濃く遺伝されたものであります。また、検定材料牛の肥育時には和牛らしい肉牛体型となり、仕上がりも良好でありました。

質量兼備(枝肉重量&脂肪交雑)が求められており、さらに牛肉の美味しさを追求するため不飽和脂肪酸の含有量などの研究も多く進められてきています。「国牽白清」は現在の需要に合った数少ない種雄牛の中の1頭ではないかと思えます。



国牽白清 × 安茂勝 × 北国7の8

和牛改良の礎となった質量兼備の種雄牛「平茂勝」号

『現在、最も質量兼備に富んだ種雄牛は?』と質問を投げ掛けたら、誰もが「平茂勝」号と答えるでしょう!!

名牛「平茂勝」が、平成20年10月15日、18歳3ヵ月で天寿を全うしました。全国の畜産関係者が「和牛の能力を躍進させた!!」と称える名牛に相応しい大往生でした。

「平茂勝」を名牛として証明する産子数は、全国で約31万頭を超えております。全国和牛登録協会 北海道支部の調査によると、全国の黒毛和種繁殖牛頭数(現存牛)約69万頭の内、約9.6万頭が「平茂勝」号産子であり、その割合は全体の14%以上です。「平茂勝」号を父とする種雄牛も300頭を超えており、全国的に質量兼備な均一性の高さが認められ、多くの繁殖雌牛を生産し、子孫を多数残す種雄牛の父として幅広く活用されたことを伺い知ることができます。

本牛は、平成2年7月5日に鹿児島県薩摩郡宮之城町に誕生し、鹿児島県種雄牛協会の第3代目会長(任期:平成3年7月~平成12年11月)徳重 学氏に見出されました。

母「ふくみ」号は、気高系の「宝勝」号を父に持ち優れた繁殖性に加え、産肉性の高さは地元肥育者により証明済みで、当時、気高系の最高峰と呼ばれた「第20平茂」を交配して作出されたのが「平茂勝」です。

本牛は、第6回全国和牛能力共進会(大分全共)で全国デビューを果たし、優れた発育と他を圧倒する体積・資質・品位は関係者、審査員を唖らせ、圧倒的大差で名誉賞を獲得し、農林水産大臣特別賞「均称賞」をも受賞しました。

これを機に、「平茂勝」号は一躍全国で注目される種雄牛となり、全国各地で使用され、これまで類の無い抜群の増体性、強健性に加え性質温順で繁殖能力に優れていた事など市場情勢にもマッチして、さらに爆発的に使用されることとなりました。

そして、産子の出荷が始まるとさらに関係者を驚かせたのは、これまで、増体能力の高い牛の産肉能力については、但馬系統と比較して肉質が劣るとされてきましたが、その概念を完全に払拭しました。

それを証明するかのように、その産子達は全国各地の共進会、共励会で活躍した事は言うまでもありません。

その後、平成9年に開催された第7回全国和牛能力共進会(岩手全共)においては、第7区(若雌父系牛群)で特別賞として「栄養度賞」を、連動区となる第10区(肥育父系牛群)で特別賞として「兼備賞」を受賞しております。

また、本牛の地元である鹿児島県 薩摩中央家畜

市場の2005年子牛総平均価格を全国1位にまで押し上げ、地元の和牛改良に大きく貢献しました。

現在は、全国各地で息子牛たちが活躍しておりますが、代表的な種雄牛が、本牛の繋養先である鹿児島県 徳重和牛人工授精所の「百合茂」号、「勝忠平」号で広く全国で利用され父親譲りの増体能力により、地元の薩摩中央市場を筆頭に高値で取引されています。

その他、第8回 全国和牛能力共進会(岐阜全共)で活躍した「21世紀」号、「茂安福」号、「照美」号、「紋次勝」号、平成の名牛「安平」と「平茂勝」号の交配により作出された宮崎県基幹種雄牛「忠富士」号、長崎県基幹種雄牛の「勝21」号に「勝乃勝」号、島根県の「平系勝」号、米沢牛の産地山形県の基幹種雄牛「平忠勝」号などが、後継牛として供用されています。

北海道においては、平成20年8月評価 北海道 黒毛和種種雄牛育種価【脂肪交雑順位】において、上位10頭中5頭が「平茂勝」産子であり、うち1頭は母の父が「平茂勝」産子となっております。本団においても、質量兼備の後継種雄牛が続々と登場しています。

脂肪交雑 第3位のH黒-123「北安勝23」や、第7位のH黒-125「北勝隆25」などを筆頭に、産肉能力評価が急上昇中のH黒-93「北茂安93」、第9回 全国和牛能力共進会 第7区(総合評価群)去勢肥育牛群で全国の強豪を退けて第2位に入賞した、H黒-101「北勝福1」は、優秀な産肉性を現しています。これらの優れた検定済種雄牛の他、検定中種雄牛として、JB-24「北乃大福」の母「たにみ」に平茂勝を交配し、質量兼備の種雄牛を目指して作出されたH黒-151「美津勝51」なども期待されます。

また、世代を進め「平茂勝」を母の父に持つ後継牛も続々と検定終了しており、中でも先陣を切って、平成20年8月評価 北海道黒毛和種種雄牛育種価【脂肪交雑順位】第9位で堂々初登場したのが、H黒-139「松系勝39」です。

本牛は、大分県の基幹種雄牛「系福」を父に持ち、時代のニーズにマッチした増体系として皆様の要望に応える期待の種雄牛です。脂肪交雑育種価は2.018と高く、近交係数0%であることから交配相手を選ばない種雄牛です。

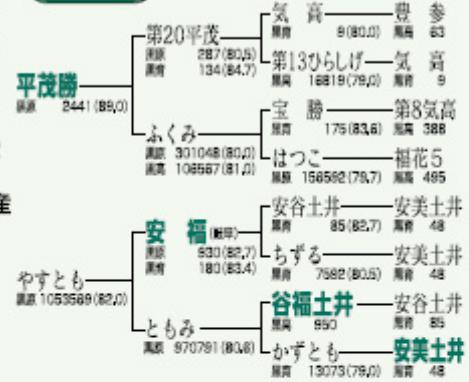
その他に、「平茂勝」号の親子交配によって作出されたH黒-163「北百合忠」、「栄光系」と「気高系」の系統交配により作出されたH黒-167「北花乃神」、高能力雌牛より計画的に生産されたH黒-175「北勝国」が今後続々と検定成績が判明いたします。

改良部肉牛改良課 小寺貴幸



H黒-123
 きた やす かつ
北安勝23
 個体識別番号:10177-07432
 黒13557 81.2点
 平成13年2月22日生 広島県産
※産肉向は全てマイナス

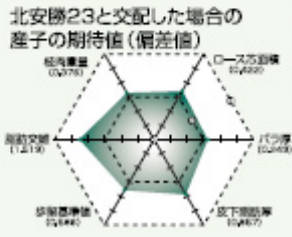
血統



北海道育種価「脂肪交雑」No3!! 平成20年8月

- ・かぶり厚く、モモ抜け、枝張り、歩留まり良好
- ・母系は「安美土井」で固められた、田尻系です
- ・産仔は総じて体幅に富み、充実している
- ・藤良系、茂金系、菊美系などへの交配が望ましい

育種価リーダーチャート



●肥育者:中置良野町 豊沢 忠氏
 母の父:茂藤松 × 母の祖父:安平
 枝肉重量:423kg ロース芯面積:77cm² BMS:No.9 格付:A-5

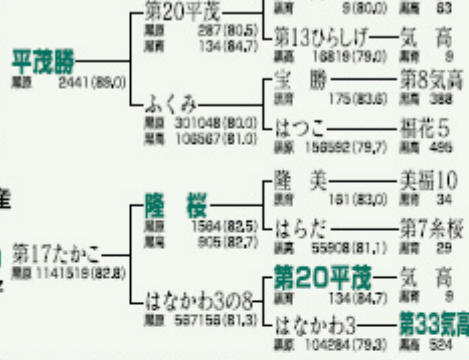


●肥育者:黒川和礼内 二瓶 義剛氏
 母の父:糸杉4 × 母の祖父:糸松
 枝肉重量:452kg ロース芯面積:56cm² BMS:No.9 格付:A-5



H黒-125
 きた かつ たか
北勝隆25
 個体識別番号:10513-15341
 黒13599 82.7点
 平成13年3月24日生 島根県産
※産肉向は全てマイナス

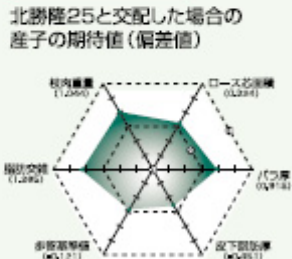
血統



質量兼備で北海道育種価「脂肪交雑」No7!! 平成20年8月

- ・脂肪交雑に優れた気高系種雄牛、かぶり厚く、枝肉重量、バラの厚さ良好
- ・産仔の評価良好で、特に体高、体長などに優れている
- ・但馬系統(田尻系、菊美系、茂金系)との相性抜群

育種価リーダーチャート



●肥育者:青更町 小助川 昌博氏
 母の父:美福 母の祖父:秀善20
 枝肉重量:433kg ロース面積:69cm² BMS:No.10 格付:A-5



●肥育者:青更町 小助川 昌博氏
 母の父:糸崎波 × 母の祖父:安福金
 枝肉重量:479kg ロース芯面積:54cm² BMS:No.9 格付:A-5

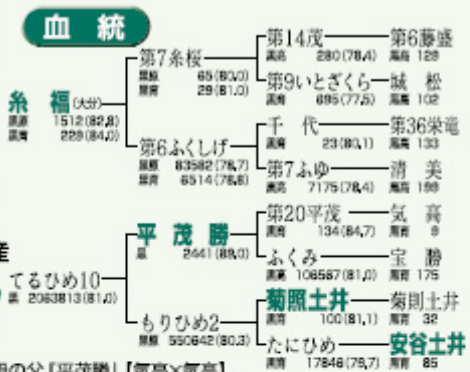


H黒-139

まつ いと かつ

松系勝39

個体識別番号: 11990-83881
 黒13796 82.7点
 平成15年7月16日生 徳島県産



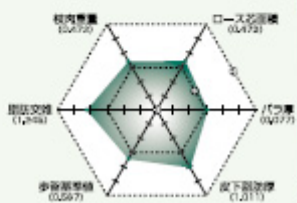
優れた「脂肪交雑」北海道育種No.9!!と「皮下脂肪厚」の薄さ!!

- ・母系、純粋但馬の系統繁殖牛に2代増体系「平茂勝」、「系福(大分)」で作出された質量兼備の種雄牛です
- ・ほぼ全ての血統に対応

血統は、父「系福(大分)」【優良×気高】、母の父「平茂勝」【気高×気高】、母の母「もりひめ2」【但馬×但馬】は、純粋但馬の系統繁殖牛です。
 ・増体能力に優れ、北海道育種「脂肪交雑」No.9!!でロース芯面積の大きい、質量兼備な種雄牛です。
 ・但馬系への交配でも、発育良好で、増体性に優れ、特に中繋幅があり、齊一性に富んでおります。

育種価リーダーチャート

松系勝39と交配した場合の産子の期待値(偏差値)



●肥育者: 広尾町 竹山 一夫氏
 母の父: 茂勝 × 母の祖父: 系福
 枝肉重量: 520kg ロース芯面積: 720cm² BMS: No.11 格付: A-5



●肥育者: 広尾町 竹山 一夫氏
 母の父: 北仁 × 母の祖父: 森正
 枝肉重量: 491kg ロース芯面積: 720cm² BMS: No.10 格付: A-5

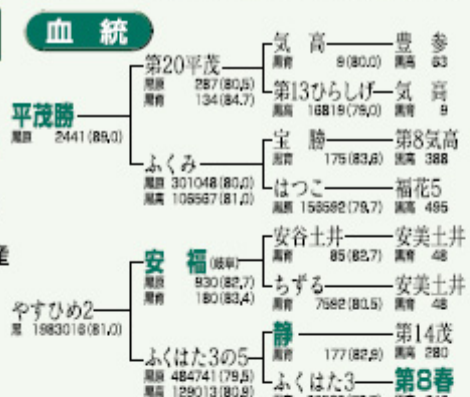


H黒-93

きた しげ やす

北茂安93

個体識別番号: 10817-12189
 黒13323 82.2点
 平成11年4月15日生 北海道産



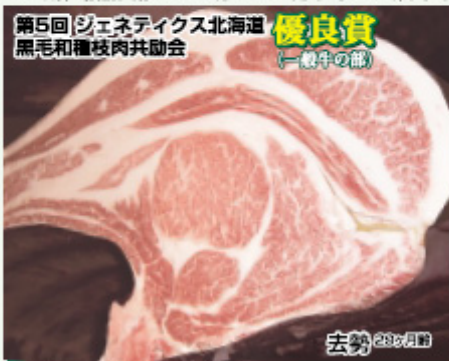
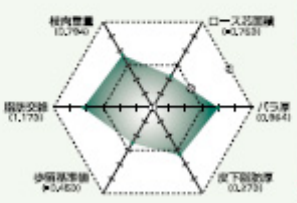
「脂肪交雑」・「枝肉重量」・「ぱらの厚さ」良好

- ・現場後代検定成績で、上物率72.2%、枝肉重量469kg、バラの厚さ8.3cmと良好
- ・母体を選ばない産肉性で、田尻系、菊美系への交配が望ましい

母系は、岩田文一氏(厚真町)が島根県仁多郡より導入した「ふくはた6」から始まるファミリーで、孫の「ふくはた3の5」は北海道育種価の高い優良雌牛です。
 ・本牛は、「ふくはた3の5」に「安福」そして「平茂勝」で気高系への戻し交配により、従来の体型の良さと、増体と種牛能力の向上を狙って作出しました。
 ・現場後代検定成績公表から4年が経過し、増体・脂肪交雑・バラの厚さなど改良の狙いが確実に具現化してきた種雄牛です。

育種価リーダーチャート

北茂安93と交配した場合の産子の期待値(偏差値)



●母の父: 会輪 × 母の祖父: 北賢楼
 肥育者: 音更町/鶴川 清助氏
 枝肉重量: 511kg ロース芯面積: 700cm² BMS: No.9 格付: A-5



●母の父: 第6栄 × 母の祖父: 会輪
 肥育者: 音更町/鶴川 清助氏
 枝肉重量: 555kg ロース芯面積: 750cm² BMS: No.8 格付: A-5

平成21年度 牛に係る家畜体内受精卵移植に関する講習会開催要領

牛に係る家畜体内受精卵移植の資格を付与するため、次により講習会を開催する。

1 講習会

- (1)開催者: 社団法人ジェネティクス北海道
- (2)期 日: 平成21年8月24日(月)から
同 9月 9日(水)まで (日曜日を除く15日間)
- (3)場 所: 財団法人清水町農業振興公社
上川郡清水町字御影南2線77番地(Tel 0156-63-2011)
- (4)受講資格: 牛に係る家畜人工授精師の免許を有し、新たに家畜体内受精卵移植の資格を得ようとする者(免許証の交付を受けている者に限る)。
- (5)受講人員: 25名程度
(希望者が多数の場合は、家畜人工授精師の経験年数、受講希望理由等を考慮して選考する。)
- (6)講習科目: 家畜改良増殖法施行規則第23条に定められた科目及び時間数。

2 修業試験 (学科及び実習)

- (1)日 時: 平成21年9月9日(木)及び10日(木)
- (2)場 所: 1の(3)に同じ

3 受講手続

受講願書(別記様式)、履歴書(市販様式に限る)及び家畜人工授精師免許証の写を社団法人ジェネティクス北海道理事長あてに提出する。

- ・履歴書に貼付する写真は、本人と確認できるものに限る。
- ・履歴書に受講希望の理由を具体的に記載すること。
- ・提出期限は平成21年7月21日(火)必着とする。

- 4 受講料: 60,000円(宿泊費等は含まない)

- 5 受講許可 受講の許可又は不許可については、
書面で本人に通知する。

6 その他

- (1)宿泊は、各自が旅館等に申し込むこと。
なお、車中又はテント内で宿泊する者は受講を認めない。
- (2)提出された書類は返却しない。
- (3)受講願書等の送付先及び講習会についての問い合わせ先は次のとおり。

社団法人 ジェネティクス北海道・生産部
〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目1 北農ビル
[Tel 011-242-9644, Fax 011-242-9651]

受講願書様式

受 講 願 書
平成 年 月 日
社団法人ジェネティクス北海道
理事長 佐藤 俊彰 様
所 属
本籍地(都道府県名)
現住所
氏 名 ④
昭和・平成 年 月 日生

牛に係る家畜体内受精卵移植に関する
講習会を受講したいので、関係書類を添えて
提出します。

[日本工業規格A4横書]



**社団法人
ジェネティクス北海道**
GENETICS HOKKAIDO assoc.

〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目1番地 北農ビル13F
[業務部] TEL (011) 242-9646 [改良部] 乳牛改良課 (011) 242-9646
FAX (011) 242-9651 肉牛改良課 (011) 242-9647

●道北事業所…TEL (0186) 57-6111 FAX (0186) 57-6113 ●十勝北見事業所…TEL (0156) 62-2158 FAX (0156) 62-2159
●道東事業所…TEL (0153) 72-4554 FAX (0153) 72-1325 ●十勝南富良野センター…TEL (0156) 62-2158 FAX (0156) 62-2159
●道央広域事業所…TEL (011) 25-035 秋 TEL (011) 35-402 FAX (011) 35-030 ●道央釧路センター…TEL (011) 375-3939 FAX (011) 375-2330

ホームページアドレス <http://www.genetics-hokkaido.ne.jp>